

淡路島のカメムシ類について

堀 田 久

淡路島のカメムシ類については、愛媛大学農学部昆虫学研究室のメンバーによる調査報告がある。(本四架橋ルート of 島々の昆虫相)

筆者も淡路島内においてカメムシ類をいくらか採集しているので、種名の判明したものを報告しておきたい。

なお、番号の前に*印を付したものは今回淡路島から新に記録されるものである。本文中に記録した標本は、すべて筆者自身が採集したものであり、現在手許に保管している。

ツチカメムシ科 Cydnidae

1. ツチカメムシ *Macroscytus japonensis* Scott
洲本市安乎町, 1ex., 10. VIII. 1974

カメムシ科 Pentatomidae

- *2. アカスジキンカメムシ *Poecilocoris lewisi* Distant
諭鶴羽山, 1ex., 29. VI. 1974
- *3. オオキンカメムシ *Eucorysses grandis* Thunberg
諭鶴羽山, 1ex., 29. VII. 1974
なお、藤富正昭氏は、1974年秋、洲本市中川原町の兵庫県立農業試験場淡路分場で、本種を多数採集されたそうである。
4. フタテンカメムシ *Laprius varicornis* Dallas
洲本市安乎町, 1ex., 7. VIII. 1947; 先山 1ex., 10. VIII. 1950
- *5. シロヘリカメムシ *Aenalia lewisi* Scott
先山, 1ex., 16. VIII. 1950.
6. ムラサキシラホシカメムシ *Eysarcoris fallax* Breddin
洲本市安乎町, 1ex., 18. VIII. 1947.
- *7. トゲカメムシ *Carbula humerigera* Uhler
先山, 1ex., 1. IX. 1947, 1ex., 23. VII. 1951
8. クサギカメムシ *Halyomorpha brevis* Walker

先山, 2ex., 16. VIII. 1950.

- * 9. ナガメ *Eurydema rugosum* Motschulsky
洲本市安乎町 1ex., 30. V. 1974.
- * 10. ウシカメムシ *Alcimocoris japonensis* Scott
先山, 1ex., 17. VIII. 1946.
- 11. チャバネアオカメムシ *Plautia crossata* Dallas
論鶴羽山, 2exs., 29. VI. 1974 ; 常陸寺山, 1ex., 21. IX. 1974

ツノカメムシ科 *Acanthosomatidae*

- * 12. ハサミツノカメムシ *Acanthosoma labiduroides* Jakovlev
常陸寺山, 2exs., 21. IX. 1974
- 13. アオモンカメムシ *Dichobothrium nubilum* Dallas
洲本市安乎町, 1ex., 5. IV. 1974

エビイロカメムシ科 *Phyllocephalidae*

- 14. エビイロカメムシ *Gonopsis alfinis* Uhler
先山, 1ex., 1. IX. 1947

ヘリカメムシ科 *Coreidae*

- 15. オオヘリカメムシ *Molipteryx fuliginosa* Uhler
先山, 1ex., 3. VI. 1973
- 16. ハラヒロヘリカメムシ *Homoeocerus dieatatus* Horvath
先山, 1ex., 23. VII. 1951
- 17. ホソヘリカメムシ *Riptortus chavatus* Thunberg
洲本市安乎町, 1ex., 16. VIII. 1947 ; 先山, 1ex., 23. VII. 1951

オオホシカメムシ科 *Largidae*

- 18. ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis* Stal
論鶴羽山, 1ex., 29. VI. 1974, 1ex., 29. VII. 1974

サシガメ科 Reduviidae

- * 19. クロモンサシガメ *Pirates turpis walker*
洲本市安乎町, 1ex., 18. V. 1974
- * 20. キイロサシガメ *Sirthenea flavipes Stal*
洲本市安乎町, 1ex., 21. IX. 1973
21. シマサシガメ *Sphedanolestes impressicollis Stal*
三熊山, 1ex., 25. VII. 1952

吹上浜の甲虫 2 種

1972年7月20日、県の計画している自然植物園候補地を見に行き、吹上浜でオオヒョウタンゴミムシとシロスジコガネをひろったので報告しておく。何れも国立淡路青年の家の庭先の電灯に来ていたものである。シロスジコガネは非常に多かったが、死んで時間のたったものばかりで、良品2♂♂、1♀を証拠として持ち帰った。ヒゲコガネもいるものと探してみたが発見できなかった。近くを通る機会があったら立寄って、電燈の下の死骸を探してみてください。とんだ珍品いるかも知れません。

(神大農 奥谷禎一)

アオマツムシについて

アオマツムシ *Calyptotrypus hibinonis Matsumura* は、東洋熱帯産で大正時代に東京で初めて採集された記録があり、そのころ日本へ帰化したものと思われる。兵庫県では宝塚市や西宮市では早くから生息が確認されていたが、その他では採集された記録が見られないようである。

筆者は、1973年10月4日、洲本市安乎町の自宅で1♂を採集したが、1974年8月19日にも自宅で1♂を採集し、その後11月初旬までに多数の個体を観察した。本種はサクラやモモの葉を食べることが知られているが、安乎町でもサクラの木に生息し、筆者はサクラの葉を与えて1か月以上飼育することができた。夜になるとカン高い声でチリリーとよく鳴いていた。

(堀田 久)